

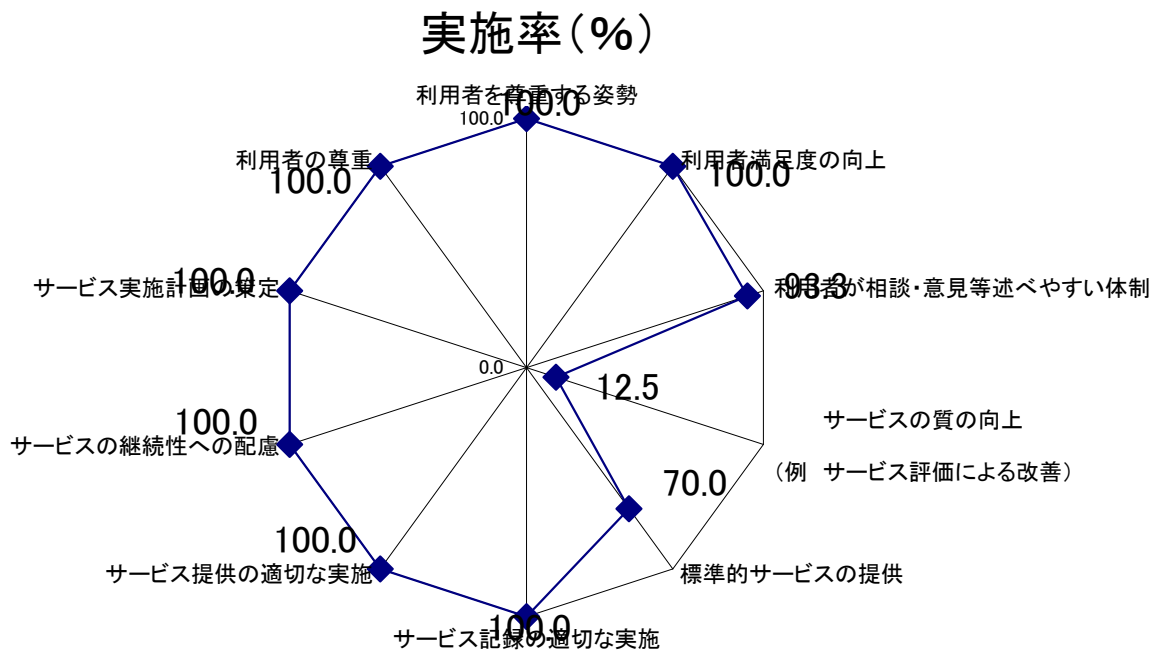
4 事業評価(評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施)の結果概要

福祉サービス種別 身体障害者入所授産施設
事業所名(施設名) 上田しいのみ園

評価分類・評価項目の番号	1-(1)	1-(2)	1-(3)	2-(1)	2-(2)	2-(3)	3-(1)	3-(2)	4-(1)(2)	5-(1)
評価分類又は評価項目	利用者を尊重する姿勢	利用者満足度の向上	利用者が相談・意見等述べやすい体制	サービスの質の向上	標準的サービスの提供	サービス記録の適切な実施	サービス提供の適切な実施	サービスの継続性への配慮	サービス実施計画の策定	利用者の尊重
着眼点の数	11	13	15	8	10	11	10	3	13	17
実施している数	11	13	14	1	7	11	10	3	13	17
実施率(%)	100.0	100.0	93.3	12.5	70.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

評価分類又は評価細目ごとの評価がaとなった評価細目

- ・利用者の尊重する姿勢
 - ①基本理念に利用者を尊重するサービス実施内容が明示されており、職員全体に周知されている。
- ・利用者の満足向上への取組み
 - ①利用者の満足を把握するために利用者から直接意見を聞いたり、アンケートを実施する等の工夫がされている。
 - ②利用者の自治組織が古くから設置されており、定期的に行われる会に職員も参加し、要望等を把握している。
- ・利用者の相談や意見が述べやすい体制
 - ①利用者の要望・希望等を把握するための相談窓口が設置されており、施設便りでも公表されている。利用者がより意見を述べやすい環境整備を期待する。
- ・サービスの質の向上
 - ①評価基準に基づく自己評価の実施が定期的には実施されていない。サービスの質の評価を客観的に行ったり、分析する仕組みを作り、サービス提供内容の課題の集約と共に、改善への取組みを実施して欲しい。
- ・標準的サービスの提供
 - ①法人の理念に基づくサービスの実施はされているが、標準的サービスを実施するための各種マニュアルの整備がされていない。形式だけでなく実働するマニュアル作成を期待する。
- ・利用者のサービス実施計画の策定
 - ①障害者施設での個別支援計画の作成、それに基づく実施が行われるようになり、計画に沿った支援が行われている。



着眼点の実施率のみで他の事業所・施設と単純な比較はできないことに十分ご注意ください。
なお、詳細な結果については、「5 事業評価の結果(詳細)と講評」をご覧ください。

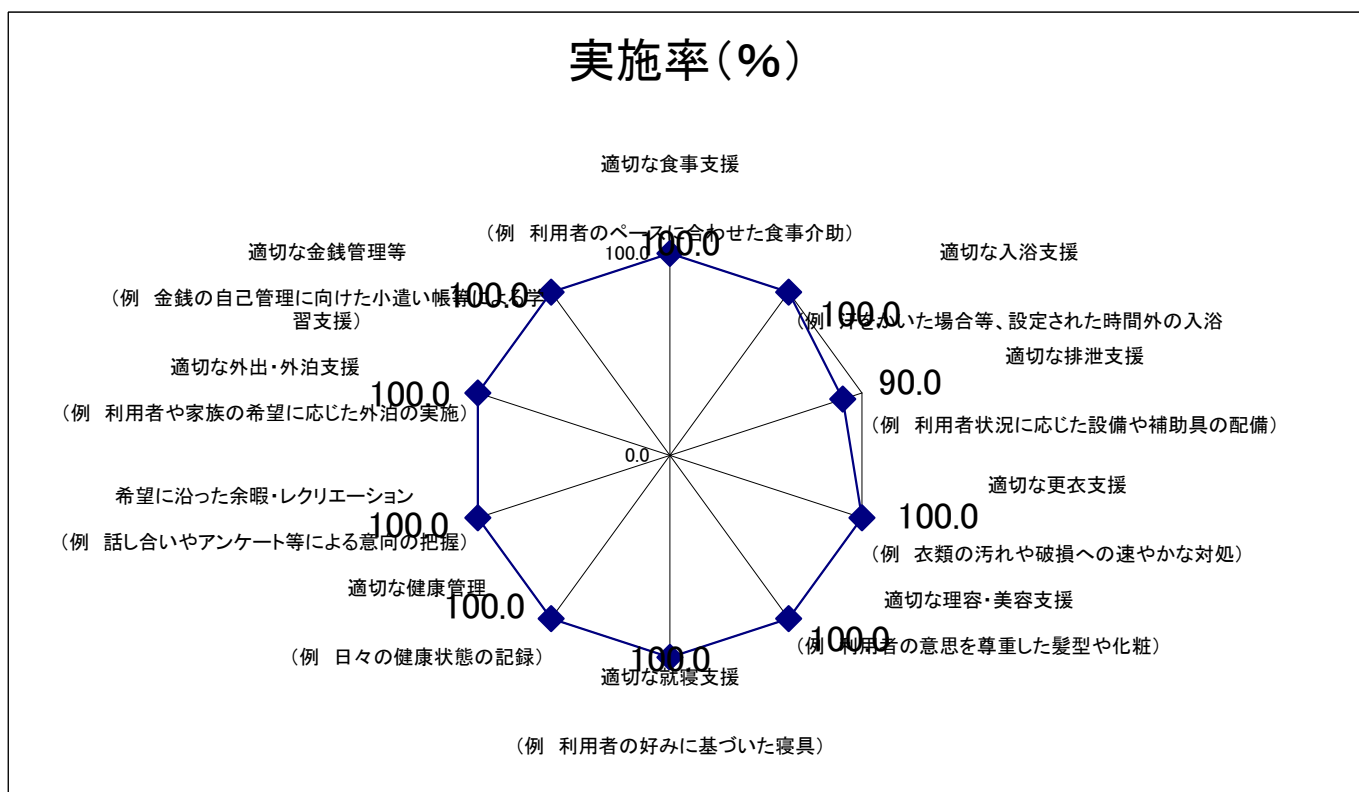
4 事業評価(評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施)の結果概要

福祉サービス種別 身体障害者入所授産施設
事業所名(施設名) 上田しいのみ園

評価分類・評価項目の番号	6-(1)	6-(2)	6-(3)	6-(4)	6-(5)	6-(6)	6-(7)	6-(8)	6-(9)	6-(10)
評価分類又は評価項目	適切な食事支援	適切な入浴支援	適切な排泄支援	適切な更衣支援	適切な理容・美容支援	適切な就寝支援	適切な健康管理	希望に沿った余暇・レクリエーション	適切な外出・外泊支援	適切な金銭管理等
着眼点の数	12	8	10	6	5	5	14	5	7	11
実施している数	12	8	9	6	5	5	14	5	7	11
実施率(%)	100.0	100.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

項目ごとの評価がaとなった評価細目

- ・適切な食事支援
 - ①利用者の嗜好調査を定期的に行い、ニーズに基づく食事提供がされている。
 - ②献立については、毎日カラー写真での掲示がされている。
- ・適切な入浴支援
 - ①浴室・脱衣場等の環境は適切であり、清潔感がある。
- ・適切な排泄支援
 - ①身体の状態に応じたトイレの種類が用意されている。
 - ②トイレの環境改善には努めているが、防臭対策についてはさらに向上を望みたい。
- ・適切な更衣支援
 - ①更衣等の購入については、自分の好みのものを知覚のデパート等に購入に行く利用者が多く、支援体制が確立している。
- ・適切な理容・美容支援
 - ①理美容については施設の近隣にある自分の好みの店に行ける体制ができています。
- ・適切な就寝支援
 - ①個室の他に2人部屋等があるが、仕切り(カーテン)等で睡眠できる配慮がされている。
- ・適切な健康管理
 - ①日常的な健康管理は看護師により定期的に行われている。
 - ②緊急時等の対応では市内の協力医療機関への診察等が行われる体制がある。
- ・希望に沿った余暇・レクリエーション
 - ①利用者希望に応じた余暇活動が実施されている。
- ・適切な外出・外泊支援
 - ①外出届けにより住に外出できる体制がある。又付き添いが必要な場合は、付き添い支援のサービスが利用できる。
- ・適切な金銭管理等
 - ①保護者及び本人管理が基本であり、施設での預りは行っていない。



着眼点の実施率のみで他の事業所・施設と単純な比較はできないことに十分ご注意ください。
なお、詳細な結果については、「5 事業評価の結果(詳細)と講評」をご覧ください。